

入学式 式辞(一部抜粋)

校長 遠藤 玲

さて、先ほど入学を認定された117名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

小学校6年間での学びを通して、確かな成長を遂げ、義務教育最後の三年間を、この学舎で過ごすことになります。皆さんには、学習はもちろん、生徒会活動や部活動などを通して、多様な経験を積み上げ、一人一人が持つ無限の可能性を広げてほしいと願っています。中学校では、まだ自分に気付いていない、「なりたい自分」を探してください。

それでは、「なりたい自分を見つける秘訣」をお話します。

それは、「今できることを積み上げること」です。中学校はとっても、楽しいところです。体験入学の時に話したとおり、この言葉にうそはありません。しかし、時には、困ったり、悩んだりするのも中学生です。これは成長の証でもあります。例えば、学習内容が複雑になると、すぐには成果が出ないこともあります。部活動でも同じことが言えます。結果ばかりを求めてしまうと、「自分には能力がない。向いていない。」というように、自信を失ったり、すぐに諦めてしまうものです。ただ、身に付くかどうかは、粘り強く時間をかけて努力できるか、どうかにかかっています。それは「学びを止めない、学校を休まない」、と言い換えることもできます。今年度の学校スローガン『一步前に』「どうしたい？今できることを積み上げよう」のとおり、「目の前のこと、今自分ができることを丁寧にやっていくことで、努力する喜びを知り、自分を強くすることができます。気が付いてみたら、なりたい自分にちゃんと近づく自分がいるはずです。失敗を恐れなくてください。

私たち、学校に関わる全ての教職員スタッフは、皆さんが「困っている、悩んでいる」ことに気づき・耳を傾け、いっしょに考え、皆さんの努力を応援するのが明倫中学校です。

昨日より今日、今日よりも明日、一日一日一歩ずつ前に進む、成長する皆さんの姿を大いに期待しています。ともに頑張りましょう。

今年度の新たな挑戦 (裏面のグランドデザインも参照願います)

1 個に応じた魅力ある教育活動の創造(学びを止めない支援の工夫)

- ・支援員、介添員の増員、多様なスタッフによる支援
- ・ステップアップ教室の開設
- ・個に応じた学びの場の保障
- ・教育相談の工夫(「困っている」「どうしたい」が言える関係づくり)
- ・コロナ禍における学校行事の見直し(今できることは？子どもにとってどうか?)

2 令和4年度から全学年の学級編成を行います(1年をより大事にします)

- ・子どもたちの将来の自立のために、コミュニケーション能力の育成が求められています。そのためにも、いろいろな人との出会いや関わりを経験させたい。
- ・円満な友人関係や集団生活を苦手にする生徒が多い現状の中で、1年という期間の中で、自己変革のチャンスを用意につくってあげたい。
- ・生徒減による教職員定数減及び教職員の異動年数との兼ね合いで、従来の2年から3年への持ち上がりが困難な状況になってきている。

新型コロナウイルス感染症対策について<お願い>

- ・登校前の検温、及び体調観察をよろしくお願ひします。体調不良の際には、無理をさせず、まずは休養、必要に応じて受診をお願ひします。(休日の部活動においても、同様)
- ・校内ではマスク着用が原則とします。
- ・ご家族の皆様の中で、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合、その旨を学校にも連絡していただき、生徒の登校は控えるようご協力願ひします。
- ・登校後に体調不良を訴えた場合は、早退を原則とします。保護者の方に連絡をして迎えに来ていただくことになります。連絡先を生徒にも把握させておいてください。